

(1) 高知市における主な文化関連施設

■ 一覧表

(2018(平成30)年1月現在)

■ 位置図

1	文化プラザかるぼーと、横山隆一記念まんが館、中央公民館	48	春野公民館弘岡上分館
2	筆山文化会館	49	春野公民館弘岡中分館
3	三里文化会館	50	春野公民館弘岡下分館
4	旭文化センター、木村会館、旭市民図書館	51	春野公民館森山分館
5	横浜文化センター	52	春野公民館新川分館
6	春野文化ホールピアステージ、春野郷土資料館、春野市民図書館	53	春野公民館西畑分館
7	鏡公民館、ギャラリー白雲、鏡図書室	54	春野公民館仁ノ分館
8	アスパルこうち、青年センター他	55	春野公民館甲殿分館
9	自由民権記念館	56	春野公民館秋山分館
10	わんぱくこうち	57	春野公民館西分分館
11	工石山青少年の家	58	春野公民館芳原分館
12	大川筋武家屋敷資料館	59	春野公民館内ノ谷分館
13	旧関川家住宅民家資料館	60	春野公民館諸木分館
14	寺田寅彦記念館	61	春野公民館平和分館
15	旧山内家下屋敷長屋展示館	62	春野公民館南ヶ丘分館
16	濱口雄幸生家記念館	63	潮江小学校生涯学習室
17	介良民具館	64	昭和小学校生涯学習室
18	大津民具館	65	一宮小学校生涯学習室
19	田中良助旧邸資料館	66	朝倉小学校生涯学習室
20	山嶽社資料館	67	一ツ橋小学校生涯学習室
21	高知市民図書館、高知点字図書館(～平成30年6月30日)	68	旭東小学校生涯学習室
22	潮江市民図書館	69	小高坂小学校生涯学習室
23	江ノ口コミュニティセンター、江ノ口市民図書館	70	潮江南小学校生涯学習室
24	下知コミュニティセンター、下知市民図書館	71	横内小学校生涯学習室
25	初月ふれあいセンター、図書室	72	介良潮見台小学校生涯学習室
26	秦ふれあいセンター、図書室	73	潮江東小学校生涯学習室
27	朝倉ふれあいセンター、図書室	74	江陽小学校生涯学習室
28	鴨田ふれあいセンター、図書室	75	横浜小学校生涯学習室
29	一宮ふれあいセンター、図書室	76	初月小学校生涯学習室
30	布師田ふれあいセンター、図書室	77	旭小学校生涯学習室
31	高須ふれあいセンター、図書室	78	鴨田小学校生涯学習室
32	五台山ふれあいセンター、図書室	79	浦戸小学校生涯学習室
33	三里ふれあいセンター、図書室	80	江ノ口小学校生涯学習室
34	浦戸ふれあいセンター、図書室	81	一宮東小学校生涯学習室
35	御畳瀬ふれあいセンター、図書室	82	高知城
36	長浜ふれあいセンター、長浜市民図書館	83	県立文学館
37	大津ふれあいセンター、図書室	84	県立県民文化ホール
38	介良ふれあいセンター、図書室	85	県立美術館
39	土佐山公民館、土佐山図書室	86	県立牧野植物園
40	龍馬の生まれたまち記念館、上街ふれあいセンター	87	県立坂本龍馬記念館
41	弥右衛門ふれあいセンター	88	県立ふくし交流プラザ
42	土佐山夢産地パーク交流館かわせみ	89	県立塩見記念青少年プラザ
43	鏡公民館畑川分館	90	県立高知城歴史博物館
44	吉原公民館	91	高知よさこい情報交流館
45	柿ノ又公民館	92	こうち男女共同参画センター「ソーレ」
46	梅ノ木公民館	93	オーテピア(平成30年7月24日～)
47	春野公民館		オーテピア高知図書館、 オーテピア高知声と点字の図書館、 高知みらい科学館



40 龍馬の生まれたまち記念館
上街ふれあいセンター



15 旧山内家下屋敷長屋展示館



6 春野文化ホールピアステージ
春野郷土資料館
春野市民図書館



7 鏡公民館、ギャラリー白雲
鏡図書室



42 土佐山夢産地パーク交流館
かわせみ



1 文化プラザかるぼーと
横山隆一記念まんが館
中央公民館



8 アスパルこうち、青年センター他



9 自由民権記念館

(2) 高知市における主な文化活動等

1) 芸術

公益財団法人高知市文化振興事業団の実施事業について紹介します。

事業団では、豊かな市民文化の創造と文化的な都市づくりに寄与することを目的とし、さまざまな文化活動を行っています。高知市文化プラザかるぽーとを拠点とし、市民による芸術・文化の創造活動の日常化を目指し、事業団が独自に取り組むさまざまな自主事業をはじめ、高知市が委託して実施している高知市文化祭事業、中央公民館事業等を行っています。

●高知市文化祭事業（2016（平成28）年度）

高知市内の各種文化団体や市民に、作品発表や公演の機会を提供して市民文化活動を助成するとともに、芸術文化の鑑賞の機会をつくり、本市の文化振興を図ることを目的としています。

毎年時宜に適った演目を上演する「開幕行事」、公募無審査（アンデパンダン）形式の開かれた美術展として市民に親しまれ、姉妹都市である北海道北見市からも交流作品が寄せられている「高知市展」、芸術文化団体や個人が4月～6月末までの期間に独自に開催する事業を公募して、高知市文化祭事業としてPRや助成金を支給する「助成事業」の三本柱で行っています。

第68回高知市文化祭主催行事

- ・文化祭開幕行事「土佐に生まれ、土佐が育んだ、文化の華」

・第68回高知市展（アンデパンダン）

・同上美術体感イベント「あなたダビンチばくピカソ」
- ・同上関連行事 講習会（絵画、日本画、彫刻、陶芸、工芸、写真、デザイン）

研究会（絵画、日本画、書道、彫刻、陶芸、工芸、写真、デザイン）

第68回高知市文化祭参加行事

部門	行 事	
映像	・『鉄道員』＋中野勇人講演会「国鉄労組の解体」 ・シネマな夜 VOL.194『MUD』 ・『黒薔薇の館』 ・『尼僧ヨアンナ』＋堀越孝一講演会「中世ヨーロッパのキリスト教と火炙り」 ・『股旅 三人やくざ』	・『人魚伝説』＋木田節子講演会「今、福島で起きている事は？」＋牧田寛と対談「果して、原発は必要なのか？」 ・高知・民族文化映像研究所の映画をみる会 第30期上映会『奥会津の木地師』『竹縄のさと』
演劇	・シアター TACOGURA 007 イプセン「民衆の敵」 ・神田香織さん高知公演「あの『はだしのゲン』を講談できこう！」 ・Join the Bear Hunt ～絵本で遊べば心が動く～ ・喜多流回雪臺高知栗谷会春の会	・高知市子ども劇場低学年例会 人形劇団むすび座公演「ピノキオ」 ・高知市民劇場第320回例会 オペラシアターこんにゃく座公演「ネズミの涙」 ・第28回高知能楽会大会 ・シャカ力のお芝居「シャカ力 HOPPA ワレワレは宇宙人ダ」
音楽	・一絃琴の調べ わくら和遊紅会演奏会 ・四十周年記念大会 おしどり会民謡発表会 ・土佐中・高等学校吹奏楽部 第51回スプリングコンサート	・高知県吟剣詩舞道総連盟 第73回詩吟剣詩舞春季決勝大会 ・2016年度例会コンサート「親子で楽しむレクチャー・コンサート」 ・正曲一絃琴白鷺会 春の演奏会

部門	行 事	
音楽	・やいろ吹奏楽団 第21回定期演奏会 ・三曲演奏会 ・高知市子ども劇場高学年例会 生音空間公演「草原の馬頭琴 森のピアノ」 ・高知交響楽団創立85周年記念演奏会 ・高知マンドリン土曜日会 第47回定期演奏会	・混声合唱団 Pange 第13回定期演奏会 ・秀鳳流日本吟詠会春季大会 ・第23回大正琴アンサンブルあじさい会の集い ・土佐一絃琴同好会演奏会 ・第57回高知県合唱祭
舞踊	・第1回高知県支部日本舞踊協会公演	・モダンダンス伊野友美子舞踊研究所公演「無じん」
展示	・第11回映光会書作展 ・春のばら展 2016	・春のいけばな展 ・第40回さつき花季展覧会
文芸	・第46回総合文芸展 ・第45回高知県俳句大会	・平成28年度帆傘川柳大会
その他	・香を楽しむ ・第42回高知市教育長杯かるた大会	・第20回三里友の会文化祭 ・参加興行映画

（「第68回高知市文化祭報告書（平成28年度）」より）

お問い合わせ：高知市教育委員会生涯学習課 TEL 088-821-9215
公益財団法人高知市文化振興事業団 TEL 088-883-5071

●公民館事業（2016（平成28）年度）

中央公民館事業では、市民の多様な生涯学習活動に資する市民学校、市民講座、いきいきセカンド☆ライブ講座や夏季大学、市民の大学など、さまざまな講座・講習などを開催しています。

2016（平成28）年度実施事業

- ・第66回高知市夏季大学

・第79期高知市民の大学、第80期高知市民の大学

・春のいきいきセカンド☆ライブ講座

・秋のいきいきセカンド☆ライブ講座

・初夏の市民講座、秋冬の市民講座

・2016春の市民学校、秋の市民学校

・2016市民学校年末特別教室
- ・市民学校作品展

・第47回高知市民頭脳スポーツ大会

・市民映画会

第179回『ボーイ・ソプラノ』『あの日の声を探して』

第180回『キャロル』『マリーゴールド・ホテル～幸せへの第二章～』

第181回『太陽のめざめ』『ロイヤル・ナイト』

お問い合わせ：高知市教育委員会生涯学習課 TEL 088-821-9215
公益財団法人高知市文化振興事業団 TEL 088-883-5071

●高知市文化振興事業団 自主事業（2016（平成 28）年度）

市民の芸術文化活動の振興に資する独創的な自主事業として、演劇・音楽・舞踊・美術・ワークショップなど、数多くのジャンルの文化事業を実施しています。

2016（平成 28）年度実施事業

- ・Let's sing together！うたごえ in 高知

・Forever Plaid

・竜馬四重奏コンサート～土佐維新の遍～

・キッズフリーマーケット 2016

・Takeshi Sato ローラーアートの世界…
2016 in Kochi

・World Music Night vol.21 ～世界の音楽
と料理を楽しむ夕べ～

・World Music Night vol.22 ～世界の音楽
と料理を楽しむ夕べ～ ZAHA Night

・平成 28 年度公共ホール演劇ネットワー
ク事業「演出家だらけの青木さん家の奥
さん」高知 Ver.

・かるぽーと北広場大階段 合唱コンサート
- ・美術アドバンスドセミナー 絵画技法材料学
ー西洋と日本の美術を技法材料で俯瞰するー～フレ
スコから合成樹脂までを支持体と技法材料で辿る～

・伝統芸能の夕べ 特別公演

・ゲルハルト・オピッツ ピアノリサイタル

・高知市文化振興事業団企画展 vol 1 WORKS- そ
れぞれの仕事- 高知県若手陶芸家の作品展

・卵をとるのはだあれ？

・大駱駝艦 田村一行 舞踏公演「土佐の山間より出づる」

・劇団四季 こころの劇場「王子とこじき」

・第 6 回高知の音楽活性化事業「世界が聴き惚れ
るハーピスト 福井麻衣コンサート」

・第 33 回 写真コンテスト 高知を撮る

・World Music Night vol.23 ～世界の音楽と料理を
楽しむ夕べ～

（公益財団法人高知市文化振興事業団ホームページより）

お問い合わせ：高知市教育委員会生涯学習課 TEL 088-821-9215
公益財団法人高知市文化振興事業団 TEL 088-883-5071

2) 歴史

●自由民権記念館 企画展及び資料統計

自由民権記念館では自由民権運動に関する資料を全国的視野で収集し、自由民権運動関係の資料セン
ターをめざすとともに、幅広く郷土資料の収集を進め、自由民権運動や土佐近代史の調査・研究活動に
貢献することを館の活動機能の一つとして位置づけています。

収集した資料は「自由民権記念館収集資料」と「一般資料」に大別しています。このうち「自由民権
記念館収集資料」は特に貴重なものとして保存するものであり、史料（歴史的に価値があると見なされ
る資料全般）、家資料（ある特定の家の関連資料）、特設文庫（ある特定の個人又は団体の収集資料）・
特定事項関係資料（ある特定の人物・事件・地区等に関連する資料群）、貴重図書（前記以外で 1945（昭
和 20）年以前に発行された図書及び特に貴重と見なされる図書）に分類して整理しています。

これらの資料は主に図書室、郷土情報室で利用者に提供しています。

企画展開催状況（2016（平成 28）年度）

- ・企画展『『在伯同胞活動実況大写真帖』
ー竹下増次郎、ブラジル日本移民を写すー

・企画展「中江兆民と『三酔人経綸問答』
ー 1 世紀の時をへて出現した自筆草稿ー」
- ・企画展「志国高知幕末維新博」関連企画展
『『汗血千里の駒』が描く坂本龍馬』

資料統計（2016（平成 28）年 3 月 31 日現在）（単位：冊，点）

分 類		計	
●自由民権記念館収集資料①	41,310 点	史料・貴重図書	1,220
		家資料・特設文庫・特定事項関係資料	40,090
●一般資料②	30,922 点	図書室用図書	23,181
		郷土情報室用図書	3,294
		雑誌逐次刊行物	3,266
		マイクロフィルム	1,181
合 計 (①+②)			72,232

※未整理分については統計数値に算入していない。（「自由民権記念館要覧」より）

お問い合わせ：高知市教育委員会民権・文化財課 TEL 088-832-7277
高知市立自由民権記念館 TEL 088-831-3336

●龍馬の生まれたまち記念館 企画展

龍馬の生まれたまち記念館は、地域の交流施設としてのふれあいセンターを併設し、幕末の英傑・坂
本龍馬がなぜここに育ち世に出たのか、龍馬が土佐を脱藩するまでの少年時代・青年時代を、家族や友
人、生まれ育ったまちに焦点を当てて紹介しています。

企画展開催状況（2016（平成 28）年度）

- ・維新の夜明け展 vol.1
- ・近代日本の遺墨展
- ・角谷やすひと作品展 vol.7
- ・偉人を探そう！上町・小高坂の群像展 vol.2
- ・高松紅真作品展 vol.4

お問い合わせ：高知市商工観光部観光振興課 TEL 088-823-9457
高知市立龍馬の生まれたまち記念館 TEL 088-820-1115

●指定文化財・登録文化財一覧

国指定文化財 (39) (2016 (平成 28) 年 4 月 1 日現在)

区分		名 称	
重要文化財	建造物	・ 竹林寺本堂 ・ 竹林寺書院 ・ 土佐神社本殿，幣殿及び拝殿 ・ 土佐神社鼓楼 ・ 土佐神社楼門	・ 高知城（天守他 14 棟） ・ 朝倉神社本殿 ・ 旧関川家住宅 ・ 旧山内家下屋敷長屋
	彫刻	・ 木造 阿弥陀如来坐像（安楽寺） ・ 木造 文殊菩薩及侍者像 (5 軀）（竹林寺） ・ 木造 大威徳明王像（竹林寺） ・ 木造 阿弥陀如来立像（竹林寺） ・ 木造 多聞天立像・木造増長天立像（竹林寺） ・ 木造 愛染明王坐像（竹林寺） ・ 木造 千手観音立像（竹林寺） ・ 木造 薬師如来坐像（竹林寺） ・ 木造 十一面観音立像（竹林寺） ・ 木造 釈迦如来坐像（竹林寺） ・ 木造 勢至菩薩立像（竹林寺）	・ 木造 阿弥陀如来坐像（竹林寺） ・ 木造 白衣観音立像（竹林寺） ・ 木造 馬頭観音立像（竹林寺） ・ 木造 大日如来坐像（竹林寺） ・ 木造薬師如来坐像及び両脇侍像 (3 軀） 附 木造十二神将立像 (10 軀）（雪蹊寺） ・ 木造 毘沙門天及脇侍立像 (3 軀）（雪蹊寺） ・ 木造 地藏菩薩坐像（吸江寺） ・ 木造 不動明王坐像（宗安寺） ・ 木造 持国天立像 木造 増長天立像（宗安寺） ・ 木造 薬師如来坐像（種間寺）
	工艺品	・ 糸巻太刀銘国時（掛川神社）	・ 錦包太刀銘康光（掛川神社）
	絵画	・ 絹本著色長宗我部元親像（秦神社）	・ 絹本著色普賢延命像（龍乗院）
	史跡	・ 武市半平太旧宅及び墓 ・ 高知城跡	・ 土佐藩主山内家墓所
記念物	名勝	・ 竹林寺庭園	
	天然記念物 (特別)	・ 高知市のミカドアゲハ及びその生息地	

県指定文化財 (37) (2016 (平成 28) 年 4 月 1 日現在)

区分		名 称	
有形文化財		・ 観音正寺観音堂（春野町芳原） ・ 開成門（高知県） ・ 短刀銘吉光（個人） ・ わきざし銘長谷部国信（個人） ・ 刀銘於大島山麓左行秀造之安政六年八月日（個人） ・ 日本刀銘備前国住長船与三左衛門尉祐定作天文三年二月吉日（個人） ・ 木造 薬師如来坐像（日吉神社） ・ 木造 不動明王坐像（個人） ・ 木造 阿弥陀如来坐像（高蓮寺） ・ 梵鐘（妙国寺） ・ 梵鐘（竹林寺）	・ 石茶臼（吸江寺） ・ 森田久右衛門江戸日記（個人） ・ 宗安禅寺の屋頂宝珠（宗安寺） ・ 要法寺の画像 (5 幅）（要法寺） ・ 日蓮聖人真筆及び真筆形木（要法寺） ・ 文殊菩薩坐像懸仏（竹林寺） ・ 永福寺の陶製位牌（永福寺） ・ 木造 長宗我部元親坐像（秦神社） ・ 長宗我部信親公忠死御供之衆鑑板（秦神社） ・ 木造 阿弥陀如来坐像（円光寺） ・ 旧致道館表門及び附番所東西築地塀（高知県）
無形文化財		・ 一絃琴（正曲一弦琴白鷺会）	
民俗文化財		・ 土佐の太刀踊（大利太刀踊）	
記念物	史跡	・ 赤鬼山 ・ 朝倉古墳 ・ 吸江庵跡 ・ 朝倉城跡 ・ 長宗我部元親墓	・ 谷時中墓 ・ 南学発祥地 ・ 鹿持雅澄邸跡 ・ 能茶山山上窯跡 ・ 貞亨元年銘法華経塔（五台山の経塔）
	天然記念物	・ 菖蒲洞 ・ 高知隕石	・ 佛性寺の大椎

市指定文化財(94) (2016(平成 28)年 4 月 1 日現在)

区分		名 称			
有形文化財		・森山八幡宮神像 ・行宗文書 （県立図書館） ・万葉集古義稿本 （県立高知城歴史博物館） ・吸江寺文書 ・土佐神社の鰐口 ・土佐神社の能面 ・土佐神社の銅鏡 ・三里出土の銅鉾 （県立歴史民俗資料館） ・潮江天満宮楼門 ・慶安五年高知郭中絵図 （市民図書館） ・寛文己酉高知絵図 （市民図書館） ・中山高陽粉本 （市民図書館） ・野中兼山自筆の裏書 （春野郷土資料館）	・高間原古墳群出土一括資料 （大津たかまのはら稲荷神社） ・木造 釈迦如来坐像（高蓮寺） ・絵馬曳馬の図（観音正寺） ・森山八幡宮御正体と懸仏 ・銅矛（銅鉾神社） ・石造 五輪塔（森山八幡宮） ・銅造 鰐口（地獄堂） ・銅造 十一面観音像（阿弥陀堂） ・木造 薬師如来坐像（薬師堂） ・木造 薬師如来立像（種間寺） ・木造 地藏菩薩坐像（阿弥陀堂） ・石造 燈籠（観音堂） ・石造 燈籠（春野町芳原）	・石造 手水鉢（種間寺） ・石造 手水鉢（荒倉神社） ・石造 こま犬（住吉神社） ・梵鐘（受念寺） ・夕顔艦絵馬（仁井田神社） ・香炉（観音堂） ・獅子頭（六条八幡宮） ・宝珠（観音堂） ・木造男神像（六条八幡宮） ・宝永三年地頭分風土記差出（高知市） ・上の湊薬師堂の鰐口 ・坂口八王子神社の鰐口 ・横矢八社河内神社の和鏡 ・大利新宮神社の狛犬	・大利新宮神社の棟札 ・吉原市ノ瀬地藏堂のかね ・朝倉神社の尾戸焼狛犬 ・朝倉神社の懸仏 ・西養寺跡無縫塔（朝峯神社） ・旧手嶋家住宅（大川筋） ・介良遺跡出土の木器・木製品初期須恵器・破碎鏡（計10点） （高知市教育委員会） ・達磨大師掛軸一對（仁ノ八幡宮） ・絵金の笑い絵及び台提灯絵（絵馬台一式）（春野町芳原） ・絵馬曳石の図（荒倉神社） ・絵馬豪農深瀬家井戸掘りの図（荒倉神社）
		・太刀踊（春野町仁ノ） ・虫送りの鉦（円行寺） ・虫送りの大太鼓（朝倉） ・三谷寺の絵馬（秦）	・太刀踊（春野町西諸木） ・さし踊り（春野町秋山） ・朝倉神社秋季祭礼 ・朝峯神社祭礼 ・西畑人形（デコ）芝居（春野町西畑）	・柿ノ又いざ踊り（鏡柿ノ又） ・梶谷の文殊様（土佐山梶谷） ・土佐山の地藏祭 ・高川の早飯喰（土佐山高川）	・弘瀬のおなばれ（土佐山弘瀬） ・久万川のあみだまつり（土佐山東川） ・中切のお薬師まつり（土佐山中切）
民俗文化財		・雀ヶ森城跡 ・新川のおとし ・行当の切抜 ・吉良城跡 ・新川の古井戸 ・野中兼山墓 ・秦泉寺の古弘古墳	・桜井跡 ・寺田寅彦邸跡と居室 ・伊達兵部宗勝墓 ・桑名古庵墓 ・小倉少助 ・三省父子の墓と墓地	・高間原古墳群 ・浦戸城天守跡附詰東部及び東南部石垣・石塁 ・濱口雄幸生家 ・竹島跡 ・田中良助旧邸	・坂本家墓所 ・山嶽社 ・開成館跡
		・大樟の木（春野町弘岡上） ・天神町のオオクスノキ	・辻山北麓の含化石石灰岩塊（丸ノ内） ・ホルトノキ（春野町秋山）	・吉原河内神社の森 ・大河内楯本神社の櫨	・大河内楯本神社の杉

その他(県下全域又は地域を定めていないもの)(13) (2016(平成 28)年 4 月 1 日現在)

区 分	名 称			
国指定特別天然記念物	・土佐のオナガドリ ・カモシカ ・カワウソ			
国指定天然記念物	・東天紅鶏 ・土佐犬	・鶉矮鶏 ・蓑曳矮鶏	・地鶏 ・軍鶏	・ヤマネ
県指定天然記念物	・土佐金魚 ・ヤイロチョウ ・土佐闘犬			

登録有形文化財(13) (2016(平成 28)年 4 月 1 日現在)

・山崎家住宅（鏡的測）	蔵一棟	敷地石垣及び水田石垣一棟			
・春宮神社（土佐山桑尾）	本殿一棟	拝殿一棟			
・仁井田神社（土佐山桑尾）	本殿一棟	拝殿一棟	鞘殿一棟		
・料亭得月楼（はりまや町）	本館一棟	客間一棟	高陽の間	喜久の間	渡り廊下 正門

（資料：高知市教育委員会民権・文化財課）

お問い合わせ：高知市教育委員会民権・文化財課 Tel 088-832-7277

3) 食

●食育体験学習実施状況（学校給食）

本事業は、学校において地域の生産者や流通関係者，ボランティア団体等と連携し，さまざまな食育体験学習を実施することにより，食べ物や生産等に関わる人々への感謝の心を育てることや，体験を通して地域の産業の特色や食文化について学ぶこと等により，子どもの心身の健康を育成することを目的としています。

2016（平成 28）年度実施事業

分 類	内 容	
野菜の栽培，収穫等	・さつまいもの栽培 ・秋野菜の栽培（種まき・苗の植えつけ）	・オクラを育てよう ・夏野菜を育てよう等
鰹のたたき作り	・鰹わら焼きたたき作り体験等	
加工食品	・うしおえ菜で地域に伝わるお雑煮作り ・台湾料理を作ろう ・皿鉢料理でおもてなし ・地域の野菜を使った調理実習（お弁当作り） ・うめジュースを作ろう ・地元野菜を使った弁当作り体験学習	・だいこん漬け作り ・高知のピーマンともやしを使った中華料理体験 ・高知のにらと生姜を使った水餃子作り ・春野町の郷土料理を学ぶ ・地産品を使ったパン作り体験等

分 類	内 容
田植え，米作り	・お米作り ・田植え ・稲刈りと脱穀・わら縄編み等
みそ作り	・みそ作り

(資料：高知市教育委員会教育環境支援課)

お問い合わせ：高知市教育委員会教育環境支援課 TEL 088-823-9480

●第2次高知市食育推進計画

高知市では、市民の健康を守り、市民自らの取組を支援するため、「第2次高知市食育推進計画」(計画期間：2014(平成26)年度から2018(平成30)年度)を策定しています。「食とひとがつながり輝く元気なまち」をめざして食育を推進し、2018(平成30)年度には、第3次高知市食育推進計画を策定する予定です。

第2次計画では、「豊かな食 おいしくいただき みんなあこじゃんと元気!」をスローガンに、「えらぶ」「はぐくむ」「つなぐ」3つの視点で、11の目標を設定し食育を推進しています。

また、「共食(共に食事をとりながらコミュニケーションを図ること)」を土台に、「健康づくり」と「体験活動」の2つを柱に取り組んでいます。



お問い合わせ：高知市健康福祉部健康増進課 TEL 088-803-8005

●街路市の歴史

高知市に街路市が開設されるようになったのは、1690(元禄3)年とされています。

この街路市の歴史については、出店者の間には、相当古い歴史を持っていると伝えられていましたが、昭和30年代初めの頃までは、まだ正確な開設年次が分かっていませんでした。

1963(昭和38)年3月5日発行の「高知の街路市」という図書を見ると、著者でもあり、街路市の出店者でもあった鎌倉幸次氏が、次のように書いています。「私は街路市組合長在職当時何とかその起源が知りたいと出店者の先輩古老年の方々の口伝を片っぱしから聞いてみたり、あるいは県立図書館に日参して、郷土誌や、その他色々の古文書も随分調べてみましたが、残念ながらなかなか見当たりませんでした」



明治時代の日曜市

さらに、郷土史家で山内家史編主任をされていた平尾道雄氏に調査を頼み、その結果1690(元禄3)年が街路市の起源であることを知ったという記述が見られます。街路市関係者が高知の市が300年近い歴史を持つということを知ったのは、この時からだと考えられます。

1690(元禄3)年開設の根拠となっているのは、土佐藩第4代藩主山内豊昌が1690(元禄3)年3月に制定した藩法「元禄大定目」であ

り、その中の市町定に「市日、毎月2日・17日朝倉町、7日・22日蓮池町、12日・27日新市町、此定日先規之通、市之商売不可有相違事」と書かれているからです。さらに1857(安政4)年の「安政海南政典晴天」の中の市法に「街上列市月6次2日・12日本坊、7日通坊、17日朝倉坊、26日蓮池坊、27日新市坊、毎前日坊正申穀貴賤於衙署」とあり、開市の日と場所が移り変わったことがうかがえます。

その後も、1871(明治4)年にかけて市の開かれる日と場所は移り変わっており、この間に本庁筋、通町、京町と広がっていきました。

太陽暦の採用(明治5年)後、1876(明治9)年に官庁が日曜休日、土曜半休になったことに伴い、それまでの定日市が曜市に変更され、今日の日曜市が誕生しました。現在の各曜市の形態が整ったのは、1926(昭和元)年のことです。第二次世界大戦によって休止状態にあった街路市は、1948(昭和23)年追手筋に日曜市が復活し、その後順次開市場所、規模などを拡大して今日に至っています。

(高知市ホームページより)

お問い合わせ：高知市商工観光部産業政策課 TEL 088-823-9456

4) まんが

●横山隆一記念まんが館

横山隆一記念まんが館は、高知市出身の横山隆一氏が、まんが家として初めて文化功労者となったことを契機として始まった横山氏の記念館設立運動にこたえて、横山氏が自身の作品やコレクションを高知市に寄贈したことを受け開館しました。横山氏の逝去後も遺族から作品等の寄贈が続き、2018(平成30)年1月には油彩画を中心に新たに461点が寄贈されることが決まっています。

寄贈資料 総計約4万点 (2017(平成29)年3月31日現在)

作 品	・まんが・イラスト原画 ・アニメーション作品フィルム ・セル画類	・油絵 ・水墨画 ・切り絵	・ジオラマ ・彫刻
書 籍	・まんが ・絵本	・文学書 ・洋書・研究書	
個人資料	・珍コレクション ・カメラ類	・玩具類 ・あずまや	・アトリエ ・ホームバー復元資料

●横山隆一記念まんが館 事業内容

まんが館は、多くのまんが家を輩出している高知のまんが文化の継承・発展、日本のまんが文化に関する資料の収集・保存・研究とその成果の発信、国内外のまんが家・出版社・研究教育機関・まんが館等と連携した活動によりまんが文化の発展への寄与、さらには国際的な視野でまんが文化の情報の受信・発信等を活動指針としています。

そうした指針に基づき、常設展示コーナーで横山隆一氏のプロフィール・業績や作品を楽しく紹介するとともに、企画展を毎年5回程度開催しており、横山家からの寄贈資料は所蔵資料展として順次公開しています。また、館内にはまんがライブラリーがあり、1万4千冊以上のコミックやまんが関連図書を気軽に閲覧できます。

2016（平成 28）年度実施事業

- ・フクちゃん生誕 80 年記念企画展
「みんなの友だちフクちゃん展」
「フクちゃんと遊ぼう！～ペーパーアートとおもちゃで“昭和”～展」
- ・「村上もとか展～幕末を辿る，漫画『JIN ー仁ー』の世界～」
（高知県共催 志国高知・幕末維新博関連企画展）
- ・「まんが・漫画・マンガ展」
- ・「2016 高知のまんがあれこれ展& 4 コマまんが大賞作品展」
- ・「4 コマまんが大賞」
- ・「まんさいーこうちまんがフェスティバル」
- ・「まんが体験イベント」

●高知出身の主なまんが家

青柳裕介	川島昭代司	J E T	華々つぼみ	森田将文
安倍夜郎	川島三郎	芝岡友衛	浜口奈津子	森山大輔
厦門潤	くさかり樹	杉本カズオ	はらたいら	やなせたかし
井上恵美子	楠みちはる	田所のりあき	平井まさね	矢野功
井上淳哉	窪之内英策	竹村よしひこ	平山昌幸	矢野徳
いのうえ雅晴	黒鉄ヒロシ	玉地俊雄	福原鉄平	山崎匡佑
岩本久則	コジロー	徳弘正也	まさき輝	山田章博
梅本さちお	コマツシンヤ	都佐野史樹	正木秀尚	山本よしこ
大石容子	古味直志	中川海二	松下幸志	ゆうき・ふみや
改田昌直	西原理恵子	長崎さゆり	松本成正	弓月光
甲藤征史	左古文男	中島菊夫	水谷京子	横山隆一
上北ふたご	澤本英世	西谷祥子	村岡マサヒロ	和氣一作

高知漫画集団

1950 年代に高知新聞で風刺まんがに健筆をふるっていたコウチ・マンガクラブの流れをくむ。土佐の“いごっそう精神”を発揮して自由で奔放な漫画を創造していこうと 1978（昭和 53）年 9 月に結成されました。

おかもとあつし	9 2 0	さかもと清敏	ちさと	早川智彦
川のひろし	クメヒロオ	種田英幸	中城たてお	山北美砂子

高知漫画グループ くじらの会

1979（昭和 54）年 5 月に高知で発刊された奇想天外社『くじらの鼻歌』への投稿をきっかけとして集まり，1980（昭和 55）年に結成されました。

青木空	近藤まさふさ	瀬戸あつゆき	益一夫
岩神よしひろ	斉裕麻	はくしよみのる	水木和香
小原淳	清水山葉	橋村政海	緑の魔法使い
架空まさる	樹夏夢	フナムシ	山中みあき

お問い合わせ：高知市教育委員会生涯学習課 TEL 088-821-9215
横山隆一記念まんが館 TEL 088-883-5029

5) 高知らしさ

●地域における文化事業

各地域では，ふれあいセンターや公民館，小学校などの施設を利用した文化祭や作品展，発表会などが盛んに行われており，地域によっては 50 回以上の開催回数を重ねてきたものや，1,000 人以上の入場者を数えるものもあります。

2016（平成 28）年度開催状況

事業名	内 容
・第30回朝倉ふれあい教室発表会 ・第17回鴨田ふれあい美術展 ・第11回秦ふれあいセンター文化祭 ・五台山市民学校作品展・発表会 ・第5回五台山ふれあい展 ・文化祭（御豊瀬）	・第7回江ノ口美術芸能祭 ・第48回春野文化祭 ・第56回土佐山文化祭 ・第27回鏡女のまつり ・第58回郷土演芸大会 （高知市公民館連絡協議会）
作品展（写真・ちぎり絵・水墨画・書道・絵画・陶芸・生け花・絵手紙・手編み・折り紙・工芸・表装・俳句等） 舞台発表（民謡・民謡・大正琴・ヨーガ・童謡唱歌・ベリーダンス・フォークダンス・カラオケ・健康体操等） 各地域公民館活動発表会（日本舞踊・大正琴・歌謡舞踊・郷土芸能等） お茶席	

（資料：高知市教育委員会生涯学習課）

お問い合わせ：高知市教育委員会生涯学習課 TEL 088-821-9215

●新図書館等複合施設「オーテピア」

高知県立図書館と高知市民図書館本館の合築によるオーテピア高知図書館，オーテピア高知声と点字の図書館，高知みらい科学館それぞれの基本コンセプトを具体化し，機能を十分に発揮できるようにするとともに，3つの施設を効率的に配置し，相互に連携を図ります。

複合施設として整備することにより，さまざまな人々の交流が深まり，県内の生涯学習や文化の発展に寄与するとともに，県民・市民の暮らしと仕事の中で起こるさまざまな課題解決を支援する知的・文化的な基盤とします。

・オーテピア高知図書館

県立図書館と市民図書館本館それぞれの役割分担を明確にしながら，連携してサービスを提供することにより，県民・市民の読書環境・情報提供の充実を図ります。

・オーテピア高知声と点字の図書館

視覚障がい，病気，高齢，その他の障がい等で，通常の書籍等での読書が困難な県民・市民への読書支援や利用者のニーズに応えられる情報提供の拠点施設としての役割を充実します。

・高知みらい科学館

次代を担う創造性豊かな人材の育成を図るとともに，科学的な見方や考え方を養う知的創造活動の場を提供します。

愛称「オーテピア」とは
高知市追手筋の追手前小学校跡地の場所にちなんだ「オーテ」と，多くの仲間が集い利用される場にとの願いから，英語で仲間を表す peer の「ピア」を組み合わせたもの。
2018（平成 30）年 7 月 24 日オープン。

お問い合わせ：オーテピア高知図書館 TEL 088-823-4946
オーテピア高知声と点字の図書館 TEL 088-823-9488
高知みらい科学館 TEL 088-823-7767

●よさこい祭り

よさこい祭りの歴史

1954（昭和 29）年 8 月 10 日	第 1 回大会開催。21 団体 750 人の踊り子が、高知公園追手門本部競演場や帯屋町など市内特設舞台 7 か所で踊りを披露。
1959（昭和 34）年	第 6 回大会。ペギー葉山の『南国土佐を後にして』が全国的に大ヒットし、初めてテレビ放映された。参加者は、47 団体 2,500 人まで増えた。
1970（昭和 45）年	第 17 回大会。「日本の祭り 10 選」の一つに選ばれ、大阪で行われたアジア初の万国「日本万国博」に参加。
1980（昭和 55）年	第 30 回大会。30 年を迎え、参加者がついに 1 万人に。大型トレーラーの地方車が注目をあびる。
1989（平成元）年	第 36 回大会。昭和から平成へ。追手筋本部競演場に予約桟敷席を設置。参加者は 1 万 5 千人を超える。
1999（平成 11）年	第 46 回大会。本場高知で「よさこい全国大会」を開催。各県代表と地元の受賞チームを加えた 33 チームが乱舞した。
2003（平成 15）年	第 50 回大会。さまざまなイベントが開催され、参加者は 2 万人を超えた。
2013（平成 25）年	第 60 回大会。第 1 回よさこい祭りの踊りの再現や、総踊りの曲『この地へ〜』（GReeeeN）を披露。参加チーム数が初めて 200 チームを超えた。

よさこい祭りは、1954（昭和 29）年に市民の健康と繁栄を祈願し、また商店街の振興を促すため、高知商工会議所が中心となり始まりました。振り付けは日舞五流派の方々をお願いし、作詞作曲は高知市在住の作曲家・武政英策氏に依頼しました。武政英策氏が「阿波踊りの素手に対して、こちらは鳴子を手に持とう」と提案したものが現在まで「よさこい鳴子踊り」として受け継がれています。また、音楽や振り付けは自由にアレンジできる部分が多いことから、絶えず新しいものを取り入れ、自由な発想が踊りをダイナミックに、バラエティーに富んだものにし、その熱気や、活気を見る人を感動させ、世代を超えた交流、地域との交流、活性化へとつながっています。

●高知よさこい情報交流館

2013（平成 25）年に第 60 回の記念大会を記念して、はりまや橋近くに開設。館内は大きく分けて、歴史と知識の「よさこいサークル」、進化と体験の「よさこいスクエア」で構成。迫力ある 150 インチの大型スクリーンで 60 年の歩みを上映する「よさこいシアター」、鳴子を手に衣装も身につけて記念撮影ができる「よさこい体験コーナー」他、魅力いっぱいコーナーを設けています。

世界に広がったよさこい祭り

高知で生まれた「よさこい」は、鳴子を持つなどという基本的なルール以外は自由であることから、各地の文化と融合しつつ、さらに独創的な工夫が加えられ、多様性と交流度を高めながら、現在では、北は北海道から南は鹿児島まで、全国 200 か所以上で開催されています。また、日本だけでなく、ガーナ共和国の首都アクラや、インドネシア共和国のスラバヤ市でも開催される等、海外の国や地域でも親しまれている日本を代表する踊りに成長し、さらに発展を続けています。

お問い合わせ：高知市商工観光部観光振興課 TEL 088-823-9457
高知よさこい情報交流館 TEL 088-880-4351

【コラム】 あたらしい博物館の試み「高知県立高知城歴史博物館」

旧土佐藩主山内家には、約 6 万 7 千点の資料が伝来した。維新の動乱、火災や震災、空襲、戦後の混乱等々、多くの危機をくぐり抜けてきた資料群である。これほどの点数を伝えた旧大名家は僅少であるが、これに加えて、山内家資料は古文書・美術工芸品・和書漢籍・古写真など、構成する資料の種類の高さにおいても特異なものである。この一大資料群は、1995（平成 7）年から 10 年をかけて、全点が山内家から高知県へ移管された。大名家資料が一括で地方自治体に移管されることは希有な事例であるが、行政の所有に移ったことによって、資料のすべてが公開の対象となったということも大きな意義を有する。そして、2017（平成 29）年 3 月、高知県立高知城歴史博物館（以下、「城博」という）は開館した。収蔵資料は山内家資料を基幹としながらも、土佐藩・高知県に関する歴史・文化資料全般に及び、館名からは敢えて「山内」の文字を外した。これは、博物館活動の拡充を願う、山内家からの提案もあってのことである。

さて、開館に当たり城博に課された使命は 5 つ。（※は活動内容、◎は使命を実現するために設置された室）

①保存と継承

先人たちが残した資料は、過去の証拠品である。私たちは、それから過去を学び今を確認する。そして、未来を想像（創造）する。先人の恩恵に浴した私たちは、それと同様に資料を保存し、確実に後世に伝える義務がある。

※環境調査／資料修理室／ ◎収蔵庫／燻蒸室／保存修理室

②調査・公開

資料は自らは語らない。古文書を読む、材質を分析する、技法を判定する、時代を決定する等々、学芸員たちの知識や技術によって、資料が包含する情報が明らかになる。この調査・研究活動なしには、博物館はなりたたない。

※資料整理／調査／目録作成／リファレンス ◎調査室／撮影室

③展示・公開

博物館は物資料を駆使して活動する。収蔵資料そのものと、調査・研究成果を最も端的に伝える活動一それが展示である。さらに、HP やデータシステムなど、さまざまな方法で情報が公開される。博物館と社会との距離は、情報公開度に表れる。

※常設展／企画展／特別展／データ公開 ◎展示室／閲覧室

④教育普及

博物館法は、日本国憲法の精神を教育現場で実現することを目的とした教育基本法を根拠としている。人間の学びに対する欲求は、さまざまな形で生涯続く。

※学校教育／生涯学習／ ◎ホール／実習室／和室／体験コーナー

⑤地域振興・観光振興への寄与

①から④までは、博物館法等で謳われる博物館の必須要件であるが、城博には、5 番目の使命が明記された。

バブル崩壊後、博物館はその存在が当然のものではなくなっている。活動内容や職員の心構えを改めて点検し、社会的存在意義を積極的に証明しない文化施設は、いまや生きてはいけな。研究資料として全国に知られた山内家資料を基幹とする城博は、全国的視点から活動を展開することが求められる一方で、高知県（民）が設置したという点からは、地域博物館としての役割を十分に果たすこともまた必須である。

地域の抱える現実的課題（過疎・高齢化等）や行政の政策（地域活性・観光振興）へも、積極的に関わる博物館であれというのが⑤の使命である。もちろん、我々ができることは歴史や美術といった極めて限定された分野ではあるが、地域資料の調査や保存支援、古文書の解読や美術品の分析といった学芸員が有する知識や技術の提供、歴史観光への情報提供や広報活動への協力等々、踏み出してみると博物館ができる分野は、思ったより広いことに気がつく。

しかし、県域全体に対する活動は、到底単館で実現できるものではない。幸いなことに、高知県には「こうちミュージアムネットワーク」という組織がある。博物館・資料館・美術館・文学館・図書館・寺院等々、ありとあらゆる文化関係者が集まった全国的にも珍しいものであるが、城博は、多様な分野と対話し連携することによって、その使命を果たしていこうと思っている。



(3) 用語解説

(解説文末尾は用語に＊を付したページです。)

●**アウトリーチ** …… アーティストや芸術文化に携わる人たちが、学校や福祉施設などに出向いてワークショップやコンサートなどの活動を行うこと。そうすることによって、日頃あまり芸術にふれる機会がない人や特に関心がない人に対して、積極的に芸術文化を伝えることができます。(P11)

●**おきやく** …… 土佐弁で「宴会」のことをいいます。(P26)

●**お城下ネット** …… 「高知お城下文化施設の会」の通称。旧お城下にある8つの文化施設(高知城、高知城歴史博物館、文学館、県立図書館、市民図書館、高知みらい科学館、龍馬の生まれたまち記念館、横山隆一記念まんが館)が連携し、エリア活性化に文化の側面から協力するため、2016(平成28)年に立ち上げられました。(P32)

●**街路市** …… 高知市の街路市は、1690(元禄3)年以来、300年以上の歴史があり、なかでも日曜市は、全長約1kmにわたって、約410店が軒を並べており、全国でも最大級の規模を誇っています。1月1・2日、8月10～12日以外の毎週日曜日に開催され、新鮮な野菜や果物をはじめ、農産物加工品、植木・花、木工品なども売られている生活市で、市民・県民と県外からの観光客などを合わせると1日に約1万7千人が訪れています。日曜市の他にも、火曜市、木曜市、金曜市が開かれており、いずれも日曜市ほどの規模はありませんが、近隣の住民等に親しまれ、市民にとって郷愁と憩いを感じる場として欠かせない存在となっています。(P28)

●**高知市中心市街地活性化基本計画** …… 中心市街地の活性化に関する法律に基づき策定し、官民協働で中心市街地の活性化に取り組んでいます。コンセプトは、“土佐の風土と文化”を継承・創造・発信するまち—南国ならではのエネルギーをもって、新たな暮らし方を切り拓く(暮らし維新をおこす)まち・高知—。基本方針は、(1)街なか暮らしの魅力強化 (2)土佐の気風や歴史・文化性の活用 (3)街なか地域資源を楽しめる環境づくりの3つで、2012(平成24)年12月から2018(平成30)年3月(約5年間)の計画期間にハード・ソフト57事業を推進しています(現在、第2期計画を策定中)。(P31)

●**サピエ図書館** …… サピエとは、視覚障がい者及び視覚による表現の認識に障がいのある方々に対して、点字・デイジー図書のデータをはじめ、暮らしに密着した地域・生活情報などさまざまな情報を提供するネットワークです。日本点字図書館がシステムを管理し、全国視覚障がい者情報提供施設協会が運営を行っています。視覚障がい等をもつ約1万4千人の個人会員が利用しています。(P33)

●**食育** …… さまざまな経験を通じて「食」に関する知識と「食」を選択する力を習得し、健全な食生活を実践することができる人間を育てることを目的としています。子どもからお年寄りまで、それぞれのライフステージに応じて、一人ひとりが取り組むことができる国民運動です。(P26)

●**創造都市ネットワーク日本** …… 地方自治体等多様な主体の創造都市の取組を支援するとともに、国内及びアジアをはじめとする世界の創造都市間の連携・交流を促進するためのプラットフォームを形成し、創造都市の普及・発展を図ることを目的として2013(平成25)年1月に設立されました。(P26)

●**地域コミュニティ** …… 「コミュニティ」とは、「生活の場において、市民としての自主性と責任を自覚した個人及び家庭を構成主体として、地域性と各種の共通目標を持った、開放的でしかも構成員相互に信頼感のある集団」のこととされています。「地域コミュニティ」という用語は、特に「地域でのつながりによる人と人との連携・協力の関係」を重視したものであることを表すために使用しています。(P35)

●**地域の市立公民館** …… 地域住民のために、実際生活に即する教育、学術及び文化に関する各種の事業を行い、住民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与することを目的として設けられた公民館で40館あります。(P11)

●**地産地消** …… 地元で消費すること。「地元生産—地元消費」の略。消費者の食に対する安全・安心志向の高まりを背景に、消費者と生産者の相互理解を深める取組として期待されています。(出典：全国農業会議所発行「よくわかる農政用語」)(P27)

●**まんさい—こうちまんがフェスティバル** …… こうちまんがフェスティバルは、高知市が進めている「まんがによるまちおこし」事業のメイン事業として、2003(平成15)年から毎年開催しています。高知のまんが文化の土壌となるユーモア、ギャグ、ウィット、反骨、風刺等の精神を市民とともに体感・発信し、それらのまんが文化土壌の上にこれからの高知のまちを育てていくために、まんがに関連する楽しい企画を満載したイベントです。(P11)

●**メセナ** …… 企業が地域社会の一員という考え方に立って、地域貢献のために行う文化活動あるいは文化支援活動のことをさします。具体的な活動としては、各種イベントを主催したり、財団を設立して文化や学術への助成などが行われています。その概念は市民にも拡大し、企業だけでなく市民による支援という考え方も出てきています。(P10)

●**レファレンスサービス** …… 図書館利用者が学習・研究・調査を目的として必要な情報・資料などを求めた際に、図書館員が情報そのものあるいはそのために必要とされる資料を検索・提供・回答することによってこれを助ける業務。また需要の多い質問に対してあらかじめ書誌・索引などの必要な資料を準備・作成する作業もこれに付随した作業です。(P34)

●**ワークショップ** …… 参加者自ら主体的に参加し、交流する、体験的かつ双方向的に学ぶ学習の手法や場のことです。まちづくりなど特定のテーマについて、問題意識を持つ参加者が集まり、意見交換を行う会議もワークショップといえます。(P18)

●**NPO** …… 「NPO」とは「Non Profit Organization」の略語で、営利を目的とせず継続的、自発的に公益的な市民活動を行う民間団体の総称です。このうち、特定非営利活動促進法(NPO法)に基づく法人格を取得した「特定非営利活動法人」を「NPO法人」といいます。(P10)

●**P D C A サイクル** …… 「PDCA」とは「Plan-Do-Check-Act cycle」の略語で、事業活動における生産管理や品質管理などの管理業務を円滑に進める手法の一つ。Plan(計画)→Do(実行)→Check(評価)→Act(改善)の4段階を繰り返すことによって、業務を継続的に改善していく方法です。(P37)

●**S N S** …… 「SNS」とは「Social Networking Service」の略語で、Web上で社会的ネットワーク(ソーシャル・ネットワーク)を構築可能にするサービスのことです。その主なものに、facebookやLINEやTwitterなどがあります。(P18)

●**2011高知市総合計画** …… 2011(平成23)年度を初年度とし、2030年度までの20年間を計画期間とする基本構想と、2020(平成32)年度までの10年間を計画期間とする基本計画からなります。基本構想では、「森・里・海と人の環 自由と創造の共生都市 高知」を将来の都市像として、その実現に向けた6つの施策の大綱を定めた他、将来の人口推計及び土地利用の基本方針などを示しています。基本計画では、6つの施策の大綱に連なる具体的施策を示すとともに、「環境維新・高知市」を「施策の大綱を横断的に貫く、高知らしさを活かし地域の活力を高める総合戦略」として位置づけ、今後10年間の時代の流れを見据えて「維新8大エンジン」を設定し、各施策の有機的な連携を図りながら取組を進めることにより、新たなまちづくりを力強く効率的に推進します。(P14)

（４）高知市文化振興ビジョンに関連する施策一覧

「○」は、2011 高知市総合計画（2016 基本計画改訂版）の重点的な取組を表します。
「□」「■」は、2011 高知市総合計画（2016 基本計画改訂版）第3次実施計画への掲載の有無を表します。
（□：登載 ■：非登載）

領域 手段	活力を生み出す 芸術の豊かさを高める	先人たちが創った 歴史を受け継ぎ学ぶ	自然の恵みをいただく 食の豊かさを伝える
【継承】 伝える	○生涯学習活動の推進 □地域生涯学習活動支援事業 □自治公民館育成・支援事業	○地域文化の保存・継承・発展 □地域文化発見・活用事業 ○歴史文化の保全・継承, 市史の編さん □高知市史編さん事業 ○文化財の保護 □文化財の保護・活用の推進 □埋蔵文化財の調査保存事業	○食文化の継承・発信 □小中学校食育・地場産品活用推進事業
【発展】 進める	○生涯学習活動の推進 □学校施設の開放推進事業 □中央公民館事業 □地域の市立公民館事業 ○芸術・文化活動の推進 □芸術文化の鑑賞機会提供事業 □文化施設の整備と拠点機能の充実	○地域文化の保存・継承・発展 □世代間交流ふれあい事業 ○歴史文化の保全・継承, 市史の編さん □博物館機能の充実	○食育の推進と食生活支援 □幼児健診事業 □小中学校食育・地場産品活用推進事業
【協働】 活かす 合う	○芸術・文化活動の推進 □芸術文化と学校教育及び他分野との連携事業	○地域文化の保存・継承・発展 □地域間交流促進事業	○販売チャネルの強化・多様化 □学校給食用食材生産支援事業
【創造】 創り出す	○芸術・文化活動の推進 □芸術文化活動の支援・育成事業	○地域文化の保存・継承・発展 □地域文化再発見事業	○販売チャネルの強化・多様化 □耕作放棄地産地化推進事業
【発信】 広める	○生涯学習活動の推進 □人材バンク事業	○歴史学習の推進 □歴史学習の推進と情報発信	○食育の推進と食生活支援 □食育推進 ○農業担い手育成 ■農業体験学習推進事業 ○販売チャネルの強化・多様化 □農林水産物活用外商推進事業 ○街路市の活性化 □街路市活性化事業

まんが文化を 広げ活かす	高知らしさあふれる 文化を広める	
○まんが文化の振興 □博物館機能の充実と郷土まんが家顕彰事業	○地域資源の魅力創出 □本家よさこい祭りの充実事業	
○まんが文化の振興 □まんが文化による地域活性化事業	○生きがいづくり・社会参加促進 □高齢者の生きがいづくり促進事業	○姉妹・友好都市交流 □姉妹・友好都市交流事業
	○社会参加支援 □障がい者スポーツ振興・文化教室事業	
	○生涯学習活動の推進 □図書館資料購入事業 □子ども読書活動推進事業	
○中心市街地整備 □中心市街地活性化基本計画推進事業	○地域福祉の推進 □地域福祉の推進	○NPO・ボランティア活動支援 □まちづくり条例推進事業 □市民活動サポートセンター運営事業
	○地域コミュニティの活動支援 □地域コミュニティ再構築事業	
	○地域生活支援の充実 □地域活動支援センター事業	○生涯学習活動の推進 □新図書館「オーテピア高知図書館」の整備事業 □高知みらい科学館整備事業 □オーテピア高知図書館運営事業 □高知みらい科学館運営事業 □潮江市民図書館耐震改修事業
	○社会参加支援 □新点字図書館の整備事業 □点字図書館機能の充実	○地域資源の魅力創出 □観光資源の磨き上げと創出事業
○まんが文化の振興 □学校教育連携まんが事業	○地域資源の魅力創出 ■志国高知幕末維新博開催事業	○効果的な情報発信 □観光シティブロモーション推進事業

（５）高知市文化振興ビジョンに関連する個別事業一覧

文化振興ビジョン	2011 高知市総合計画（2016 基本計画改訂版）			第 3 次実施計画（2017 ～ 2020）			所管課
	領域	施策の大綱	政策	施策	重点的な取組	個別事業名	事業概要
芸 術 （活力を生み出す芸術の豊 かさを高める）	育みの環	いきいきと学び楽しみ、 活躍できるまち	学びが広がる生涯学習 の推進	生涯学習活動の推進	学校施設の開放推進事業	・地域住民の生涯学習活動の場として、学校の余裕教室を開放	生涯学習課
					人材バンク事業	・生涯学習活動を支援する人材の発掘と登録 ・小冊子「生涯学習人材バンク」の発行 ・高知市ウェブサイトを活用した人材の紹介	生涯学習課
					中央公民館事業	・夏季大学の実施 ・市民学校等各種講座の実施	生涯学習課
					地域の市立公民館事業	・市民学校等各種講座の実施 ・夏休み子ども教室の開催	生涯学習課
					地域生涯学習活動支援事業	・学級・講座開設事業により、自主的な生涯学習活動を行う団体に対して、社会教育指導員の指導助言、講師謝金の助成等を実施	生涯学習課
					自治公民館育成・支援事業	・学級・講座の運営に係る説明会の開催 ・自治公民館等での自主的な生涯学習活動に携わる指導者育成のための学習リーダー研修会の開催 ・自治公民館運営補助金の交付	生涯学習課
			多様で魅力的な芸術・ 文化活動の推進	芸術・文化活動の推進	芸術文化の鑑賞機会提供事業	・国内外の優れた舞台芸術の提供 ・市民向けの講座等を取り入れた、劇場を身近に感じてもらえるプログラムの企画	生涯学習課
					芸術文化活動の支援・育成事業	・ワークショップや講座を含む市民参加・創造プログラムの開催 ・他文化団体との連携推進 ・若手美術作家の支援・育成と鑑賞者の拡大	生涯学習課
					文化施設の整備と拠点機能の充実	・情報発信力の向上や利用率向上への取組 ・文化活動の推進母体としての公益財団法人高知市文化振興事業団の体制強化 ・文化振興の拠点施設である文化プラザかるぼーと・春野文化ホールピアステージの充実と老朽化対策のための計画的な改修整備	生涯学習課
					芸術文化と学校教育及び他分野との連携事業	・芸術文化と教育・福祉・医療等さまざまな分野との連携による、地域の活性化についての検討 ・アーティストの学校派遣事業の実施 ・アーティストに対するワークショップ能力開発や技術指導に係る講習会の開催	生涯学習課
歴 史 （先人たちが創った歴史を 受け継ぎ学ぶ）	共生の環	地域文化に愛着を持ち、 継承されるまち	地域文化の継承と発展	地域文化の保存・継承・ 発展	世代間交流ふれあい事業	・世代間交流を通じ、地域の伝統行事など地域文化にふれる体験や学習等の事業の企画実施 ・無形・民俗文化財の継承への支援 ・伝統文化等の保存・継承への支援 ・新たな文化財の発見への取組 ・地域や市民ボランティア等との連携と次世代の育成 ・博物館や資料館等との連携強化	生涯学習課
					地域文化再発見事業 地域間交流促進事業	・地域の歴史サークル、コミュニティグループ等と協力し、地域の歴史や文化に関する調査及び成果の紹介 ・地域間交流の貢献に必要な地域の歴史や文化に関する資料の調査、情報提供を実施	民権・文化財課 民権・文化財課
	育みの環	いきいきと学び楽しみ、 活躍できるまち	先人から受け継いだ歴 史文化・文化財保護の 推進	歴史文化の保全・継承、 市史の編さん	高知市史編さん事業	・高知市史の調査研究と出版 ・市民に事業成果を提供するための展示、講演等の実施	総務課
					博物館機能の充実	・歴史学習推進のための人材育成 ・自由民権記念館や、龍馬の生まれたまち記念館、春野郷土資料館において、地域の資料や作品の収集・保存、調査研究、展示等公開事業、各種講座等を実施 ・自由民権記念館や龍馬の生まれたまち記念館において、「志国高知幕末維新博」の開催に合わせ、関連テーマによる企画展の開催や、館内及び周辺の関連史跡等歴史資源の整備を実施	民権・文化財課 観光振興課
				歴史学習の推進	歴史学習の推進と情報発信	・郷土の歴史に対する市民の誇りとアイデンティティー形成に寄与するための展示、各種講座・講演、子ども向け事業等、教育普及事業の実施 ・郷土歴史学習に係る資料情報のデータ化推進及びインターネット等での公開 ・歴史情報の積極的な提供・発信 ・指定文化財・史跡・記念碑等を活用した歴史学習の推進	民権・文化財課
				文化財の保護	文化財の保護・活用の推進	・文化財の調査、保護及び修復整備 ・文化財への関心を高める機会や場の設定 ・市民団体等との連携による文化財保護活動の推進	民権・文化財課
					埋蔵文化財の調査保存事業	・埋蔵文化財の調査、保護及び記録保存としての報告書作成	民権・文化財課
食 （自然の恵みをいただく食 の豊かさを伝える）	共生の環	地域文化に愛着を持ち、 継承されるまち	地域文化の継承と発展	食文化の継承・発信	小中学校食育・地場産品活用推進事業	・学校給食での郷土料理の提供 ・郷土料理をテーマとした調理実習や料理教室の開催	教育環境支援課
	育みの環	子どもの安心・成長・ 自立を支えるまち	心と体の健やかな成長 への支援	食育の推進と食生活支 援	食育推進	・高知市食育推進委員会（庁内組織）による食育の推進 ・高知市食育推進会議の設置、運営	健康増進課
					幼児健診事業	・幼児の発育・発達の確認、運動機能・精神発達の遅延等の早期発見・早期治療、保健指導や食育に関する情報発信のため、1 歳 6 か月 児健診と 3 歳児健診を実施	母子保健課
					小中学校食育・地場産品活用推進事業	・高知市立小・中学校全校の食に関する指導計画の作成 ・地場産品を取り入れた教材としての給食の実施 ・望ましい食事の摂り方と食事内容に関する授業の実施 ・具体的モデル事例の創出に向けた取組	教育環境支援課
	地産の環	地域の豊かな資源を活 かし、活力ある産業が 発展するまち	大地の恵みを活かした 農業の振興	農業担い手育成	農業体験学習推進事業（※）	・食と命の大切さを伝えとともに農業に対する理解を深め興味を持ってもらうために、市内の小学生を対象として農業に関する体験機 会を提供	農林水産課
				販売チャネルの強化・ 多様化	学校給食用食材生産支援事業 耕作放棄地産地化推進事業 農林水産物活用外商推進事業	・高知市産農林水産物の学校給食用食材への活用促進による地産地消及び地場産品生産の拡大 ・耕作放棄地の解消・産地化による農業振興及び農家所得の向上を図るため、耕作放棄地を活用し、農作物の産地化に取り組もうとする 農業者を支援	農林水産課 農林水産課
		にぎわいが創出され、 いきいきと働けるまち	魅力あふれる商業の振 興	街路市の活性化	街路市活性化事業	・農業者等の所得向上を図るため、農商工連携による商品開発の支援や、地域外への農林水産物等の販路開拓・拡大を推進 ・「高知市街路市活性化構想」（2014（平成 26）年度策定）に登載された事業の実施 ・日曜市パンフレットの配布、日曜市ガイドブック（写真集）の販売、街路市ホームページの充実などを通じた情報発信等	農林水産課 産業政策課

（※）は、2011 高知市総合計画（2016 基本計画改訂版）第 3 次実施計画に記載されていません。

文化振興ビジョン				2011 高知市総合計画（2016 基本計画改訂版）			第 3 次実施計画（2017 ～ 2020）			所管課			
領域	施策の大綱	政策	施策	重点的な取組	個別事業名	事業概要							
まんが （まんが文化を広げ 活かす）	育みの環	いきいきと学び楽しみ、 活躍できるまち	多様で魅力的な芸術・ 文化活動の推進	まんが文化の振興	博物館機能の充実と郷土まんが家顕彰事業	・ 横山隆一氏をはじめとする郷土出身まんが家の資料や作品の収集・保存，調査研究，展示等公開事業，各種イベント等，また，「志国高知幕末維新博」の開催に合わせ，関連テーマによる企画展を実施 ・ 収蔵品や資料展示にかかる解説板やパンフレットの多言語化と館内音声ガイドを活用 ・ まんがやアニメに関する情報交換等，国内外のまんが館他との連携 ・ 民間活力を利用した企画展の共催や他館との連携による企画展の共催，企画展示室の有効活用の検討 ・ まんが館が開館から 15 年を経過しているため，将来の展示リニューアルの検討 ・ 学校教育連携まんがが事業			生涯学習課				
					まんが文化による地域活性化事業	・ 学校現場で実施できる「まんが」を主体とした教育的体験プログラムの充実 ・ 中心市街地活性化基本計画に基づき，「まんさいーこうちまんがフェスティバル」を開催し，まんがイベントと地元商店街等との連携による，まんが・アニメを活用したまちおこしへの取組を実施			生涯学習課				
					まちの環	便利で快適に暮らせるまち	地域特性を活かした， バランスの取れた都市の形成	中心市街地整備	中心市街地活性化基本計画推進事業	・ 県都の中心部の活性化に向け，官民一体で策定に取り組んだ「高知市中心市街地活性化基本計画」に基づく各種事業の推進			商工振興課
					安心の環	住み慣れた地域で，自分らしく暮らせるまち	生きがいづくりと介護 予防の推進 障がいのある人への支援	障がいのある人の社会参加の促進	社会参加支援	高齢者の生きがいづくり促進事業	・ 高齢者の生きがいづくりや健康づくりを促進するとともに，老人福祉の向上を図るため，健康福祉センターや老人福祉センター等で高齢者を対象にした各種講座を実施		
地域活動支援センター事業	・ 社会との交流促進，障がい者等の地域生活支援の充実を図るため，障がい者等に創作的活動又は生産活動の機会を提供			障がい福祉課									
点字図書館機能の充実	・ 芸術・文化の振興と創作意欲の助長により障がい者の自立と社会参加を促進する活動を実施 ・ 視覚障がい，病氣，高齢，その他の障がい等で通常の書籍等での読書が困難な人の読書・情報環境の充実を図るため，新図書館等複合施設「オーテピア」内に移転新築整備 ・ 点字・録音図書等の障がい者用図書の充実，サビエ図書館の活用 ・ 点字・録音図書等の製作・収集 ・ 視覚障がいに関する相談，支援 ・ 点訳・音訳ボランティア等の育成，活動支援			点字図書館									
地域福祉の推進	地域福祉の推進	地域福祉の推進	・ 家族や地域におけるつながりの希薄化を受け，深刻化する地域の福祉課題への対応を図るため，高齢者・障がい者・児童，保健・医療・福祉等を総合的に捉えたまちづくりを推進						健康福祉総務課				
高知らしさ （高知らしさあふれる文化を広める）	育みの環	いきいきと学び楽しみ、 活躍できるまち	学びが広がる生涯学習の推進	生涯学習活動の推進	新図書館「オーテピア高知図書館」の整備事業	・ 県立図書館と市民図書館の合築による新図書館，新点字図書館，高知みらい科学館の 4 館を効率的に配置した新図書館等複合施設オーテピアの整備			市民図書館				
					高知みらい科学館整備事業	・ プラネタリウムや体験型展示アイテムなどを設置した高知みらい科学館の整備			市民図書館				
					オーテピア高知図書館運営事業	・ 資料及び情報の提供 ・ 高知県関係資料の収集・保存・提供 ・ レファレンスサービス，課題解決支援サービス，行政支援サービス等の実施 ・ 図書館利用に障がいのある人へのサービスの実施 ・ 高知市全域サービスの拠点機能の継続 ・ 周辺施設との連携による中心市街地活性化への寄与			市民図書館				
					高知みらい科学館運営事業	・ 子どもから大人まで楽しめる科学館の運営 ・ 理科授業や教員学習会等の理科教育振興事業の実施 ・ プラネタリウム投映や科学教室等の科学文化振興事業の実施 ・ オープニング事業の実施			市民図書館				
					図書館資料購入事業	・ 図書・雑誌・視聴覚資料・新聞等，市民図書館全体の図書資料の購入			市民図書館				
					子ども読書活動推進事業	・ 家庭，地域における読書活動の推進 ・ 幼稚園，保育所，認定こども園，小規模保育等における読書活動の推進 ・ 学校における読書活動の推進 ・ 図書館における読書活動の推進			市民図書館				
					潮江市民図書館耐震改修事業	・ 施設の地震・津波対策工事の実施 ・ 施設の老朽箇所の改修工事の実施（空調設備更新，床張り替え等） ・ 地域のコミュニティ活動拠点の整備			市民図書館				
					地産の環	にぎわいが創出され、 いきいきと働けるまち	観光魅力創造・まごころ観光の推進	地域資源の魅力創出	観光資源の磨き上げと創出事業	・ 坂本龍馬をはじめとする歴史や桂浜公園，「志国高知幕末維新博」の開催に合わせた，龍馬の生まれたまち記念館等の既存観光資源の磨き上げ及び新たな観光資源の創出により，さらなる魅力向上を図る取組を進めるとともに，さまざまなイベントを通して本市の魅力を伝えていく取組			観光振興課
	本家よさこい祭りの充実事業	・ よさこい祭りやよさこい情報交流館の運営，東京オリンピック・パラリンピック競技大会開閉会式でのよさこい演舞等，よさこいを活かした取組により，よさこい発祥の地である「高知」の魅力を伝えていく事業							観光振興課				
	志国高知幕末維新博開催事業（※）	・ 高知県と共同し，「志国高知幕末維新博」の全国 P R のための広報やイベント等を実施							観光振興課				
効果的な情報発信	観光シティブロモーション推進事業			観光振興課									
自立の環	多様な交流や，新たな人の流れが生まれ，自立したまち	多様な交流・連携の推進 地域の絆を強める地域コミュニティの活性化	姉妹・友好都市交流	姉妹・友好都市交流事業	・ 姉妹・友好都市との交流を推進する各姉妹・友好都市委員会の活動に対する支援			総務課					
				地域コミュニティの活動支援	地域コミュニティ再構築事業	・ 住民主体による地域活動の活性化を図る地域内連携協議会の設立，運営，活動に対する支援の実施			地域コミュニティ推進課				
				NPO・ボランティア活動の推進	N P O・ボランティア活動支援	まちづくり条例推進事業			地域コミュニティ推進課				
				市民活動サポートセンター運営事業	・ ボランティアをはじめとする非営利で公益性のある活動の活性化に向けた，市民活動支援の中心拠点としての「市民活動サポートセンター」の運営支援			地域コミュニティ推進課					

（※）は，2011 高知市総合計画（2016 基本計画改訂版）第 3 次実施計画に記載されていません。

(6) 高知市文化振興審議会

1) 委員名簿

(所属・肩書は 2018 (平成 30) 年 1 月時) (敬称略 五十音順)

氏 名	所属・肩書
うちだ じゅんいち 内田 純一	国立大学法人高知大学 教育研究部 総合科学系地域協働教育学部門 教授
くさか 里樹	漫画家
さかもと まさよ 坂本 雅代	高知学芸中学高等学校 教諭
しもやま いくお 下山 郁夫	T O S A ・美術アカデミー 主宰
たかはし ひろつぐ 高橋 啓継	高知市文化協会 事務局長
にしむら かずひろ 西村 和洋	高知県立高知農業高等学校 教諭
はまだ しげる 浜田 茂	株式会社高知新聞社 編集局編集部専門委員
はまだ まさひろ 浜田 正博	公益財団法人高知県文化財団 理事長
まつもと しほこ 松本志帆子	藁工ミュージアム 学芸スタッフ
みたに ひでこ 三谷 英子	学校法人三谷学園 R K C 調理製菓専門学校 副理事長・校長
やましげ そういち 山重 壮一	高知県立図書館 図書館専門企画員兼チーフ
わたなべ じゅん 渡部 淳	高知県立高知城歴史博物館 館長

2) 高知市文化振興審議会条例

(平成 27 年 4 月 1 日条例第 27 号)

- (設置)
- 第 1 条 本市における文化振興策について調査及び審議を行うため、高知市文化振興審議会（以下「審議会」という。）を置く。
- (所掌事項)
- 第 2 条 審議会は、市長の諮問に応じ、次に掲げる事項について調査及び審議を行うものとする。
- (1) 文化振興に係る施策の推進に関する事項
- (2) 文化振興ビジョンの策定に関する事項
- (3) 前 2 号に掲げるもののほか、文化振興に関し必要な事項
- (組織)
- 第 3 条 審議会は、次に掲げる者のうちから市長が委嘱する委員 13 人以内をもって組織する。
- (1) 学識経験者
- (2) その他市長が必要と認める者
- (委員の任期)
- 第 4 条 委員の任期は、2 年とする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。
- 2 委員は、再任されることができる。
- (会長)
- 第 5 条 審議会に会長を置き、委員の互選によりこれを定める。
- 2 会長は、会務を総理し、審議会を代表する。
- 3 会長に事故があるとき、又は会長が欠けたときは、あらかじめ会長が指名する委員がその職務を行う。
- (会議)
- 第 6 条 審議会の会議は、必要に応じて会長が招集し、会長が議長となる。
- (資料提供その他の協力等)
- 第 7 条 審議会は、その所掌事務を遂行するため必要があると認めるときは、関係部局その他の者に対し、資料の提出、意見の表明、説明その他必要な協力を求めることができる。
- (守秘義務)
- 第 8 条 委員は、その職務上知り得た秘密を漏らしてはならない。その職を退いた後も同様とする。
- (庶務)
- 第 9 条 審議会の庶務は、総務部において処理する。
- (その他)
- 第 10 条 この条例に定めるもののほか、審議会の運営について必要な事項は、会長が審議会に諮って定める。

- 附 則
- (施行期日)
- 1 この条例は、公布の日から施行する。
- (経過措置)
- 2 この条例の施行の日（以下「施行日」という。）の前日において置かれていた高知市文化振興懇話会（高知市文化振興懇話会設置要綱（平成 8 年 7 月 17 日制定）の規定に基づき組織されたものをいう。以下「旧懇話会」という。）は、審議会となり、同一性をもって存続するものとする。
- 3 この条例の施行の際現に旧懇話会の委員として市長から委嘱されている者及び旧懇話会の座長に選任されている者は、施行日において審議会の委員に委嘱され、又は会長に選任されたものとみなす。ただし、その任期は、第 4 条第 1 項の規定にかかわらず、旧懇話会の委員及び座長としての残任期間に相当する期間とする。

3) 審議経過

委員会等（開催日）	議 事 概 要
2016（平成 28）年度 高知市文化振興審議会 （2016（平成 28）年 10 月 20 日）	・高知市文化振興ビジョンの中間見直しについて検討
2017（平成 29）年度 第 1 回 高知市文化振興審議会 （2017（平成 29）年 9 月 29 日）	・高知市文化振興ビジョン改訂案の確認
2017（平成 29）年度 第 2 回 高知市文化振興審議会 （2017（平成 29）年 11 月 15 日）	・高知市文化振興ビジョン改訂案の修正確認
（原案に対するパブリックコメントの実施） （2017（平成 29）年 12 月 5 日～ 12 月 28 日）	
2017（平成 29）年度 第 3 回 高知市文化振興審議会 （2018（平成 30）年 1 月 30 日）	・高知市文化振興ビジョン改訂案の最終確認
2018（平成 30）年 2 月発行	

4) おわりに　ー改訂にあたってー

「高知市文化振興ビジョン」の原案が策定された 2012（平成 24）年は、わが国においては、その前年に発生した東日本大震災からの復興や、深刻な経済不況からの回復に懸命に取り組んでいた時期でした。

その後、経済不況からの回復が徐々に進むにつれ、少子化と高齢化の同時進行と人口減少に直面することになり、「東京一極集中の是正」と「地方創生」が議論されるようになりました。

いうまでもなく人口の減少は、経済規模の縮小を招き、それがさらなる人口減少を招くという悪循環につながっていき、ひいては文化の伝承等に影響を与えるなど、文化の衰退を意味しています。地方においては、人口の流出に歯止めをかけるために、仕事、教育、日々の暮らしなどの面でその土地特有の魅力を高めるまちづくりが増々重要となっています。

文化は、人々に楽しさや感動をもたらし、豊かな感性や人間性を育み、潤いのある心豊かな生活を営むうえで不可欠なものです。また、地域に根差した文化は、その地域で生まれ、住民一人ひとりが担い手となり、継承され、発展させていくものです。このことが住民の誇りや郷土愛を深め、地域社会の連帯感を強めることから、まちづくりを進めるうえで重要な役割を果たします。

幸いにして高知市は、山、川、海などの豊かな自然に恵まれ、歴史や食の文化なども継承されていますし、よさこい鳴子踊りや漫画など高知らしい文化も育ってきています。こうした多様な文化資産をより一層積極的に活用し、発信することにより、魅力あるまちづくりにつなげることができるのではないのでしょうか。

しかしながら、2015（平成 27）年度市民意識調査の結果によると、文化芸術に対する認識や活動が十分とはいえません。地域の活性化が強く求められている今こそ、文化の振興の必要性を再認識する必要があります。

2017（平成 29）年には、県立高知城歴史博物館が開館し、2018（平成 30）年には、オーテピア高知図書館やオーテピア高知声と点字の図書館、高知みらい科学館、さらには、県立坂本龍馬記念館の新館が開館することになっています。県立市立を問わず、これら新しい文化施設はもちろんのこと、既存の文化施設の利用や文化財の保存と活用は、観光等による交流人口を拡大させ、それに伴う消費の拡大により、地域経済に対して波及効果をもたらし、地域を活性化させます。

近年、高知新港へ寄港するクルーズ客船の増加などにより外国人観光客は増えつつあり、また、「よさこい祭り」や「龍馬マラソン」、「志国高知幕末維新博」をはじめとする各種イベントも相当数実施され、観光客も増加しつつありますが、高知市独自の文化を市民が主役となり、さらに磨き上げ、発信していくことこそが、高知市のまちづくりにとって必要なことではないかと思っています。

この改訂版は、現ビジョンの考え方を踏まえつつ、その後の社会経済情勢の変化等を加味して作成しました。市民や文化振興に関わる諸団体、行政機関の連携等により、高知市らしい文化の振興を期待します。

本冊子の作成に当たり，以下の方々に作品の掲載にご協力いただきました。
改めて御礼申し上げます。

T O S A ・ 美術アカデミー

主 宰 下山 郁夫

卒業生 飯山 春風（金沢美術工芸大学環境デザイン専攻）

卒業生 大白 悠希（多摩美術大学情報デザイン学科メディア芸術コース）

卒業生 菊原 菜美佳（多摩美術大学情報デザイン学科情報デザインコース）

卒業生 中井 菜津美（多摩美術大学美術学部絵画学科油画専攻）

卒業生 森下 真帆（広島市立大学芸術学部美術学科日本画専攻）

表紙デザイン

吉岡 一洋（高知大学教育研究部人文化社会科学系教育学部門准教授）



イラスト：森下真帆